

執筆者紹介

藤本 昌代

同志社大学社会学部 教授

野々村元希

同志社大学大学院社会学研究科 博士後期課程

白 承德

韓国歴史問題研究所研究員、代替役審査委員会非常任委員

森田 和樹

同志社大学大学院社会学研究科 博士後期課程

『同志社社会学研究』編集規定

- 【1】本研究誌は同志社社会学研究学会の機関紙として社会学の研鑽に寄与し、また会員相互の研究交流に資することを目的とする。
- 【2】掲載内容は以下のものとする（枚数：400字）
- 研究論文（40～60枚）
 - 研究ノート（20～30枚）
 - 書評
 - その他
- 【3】編集委員は本学社会学科教員、同院生、同修了・卒業生の代表により構成される。専門委員は本学社会学科教員より構成される。
- 【4】投稿者は本学社会学科教員、同院生、同修了・卒業生とする。
- 【5】原稿は書籍、学術雑誌に未発表のものに限る。掲載の可否は、専門委員の審査の結果を受け、最終的に編集委員が行う。
- 【6】原稿の締め切りは12月末、発行は3月とする。投稿者は10月末までに専門委員1名に草稿を送付するとともに投稿の意思を伝え、12月末までに当該専門委員に最終原稿を送付しなくてはならない。
- 【7】執筆要領
- 横書き、口語常体、完成原稿で提出。註や参考文献の書式は日本社会学会機関誌『社会学評論』に準じ、論文の最後に別々にまとめる。詳しい執筆要領は別に定める。
- 【8】提出原稿の形式
- 原稿には日本語と英文タイトルをつけ、ハードコピー（40字×40行）と電子媒体で提出すること。
- 【9】執筆者の原稿は、同志社大学ホームページ上の「同志社大学学術リポジトリ」上に公開することを原則とする。
- 【付記】
- その他の事項については、社会学の研究誌としての性格に鑑み、編集委員会が対応する。

（2009. 7. 26 改正）

◆ 研究室だより ◆

前年度からの院生の増加傾向に加えて、本年度は博士前期課程で11名、博士後期課程で1名の社会学研究科への入学がありました。これによって社会学研究科社会学専攻では教員も合わせると、30人をゆうに超える大所帯となりました。こうした研究を共に進める仲間が増えるということは大変望ましいことだと思います。2023年度より with コロナの生活も新局面を迎えます。これからもますます皆さんの研究活動が活発に行われることを願っています。

本号は、院生の野々村氏の論文、そして森田氏による翻訳論文という紀要の新たな可能性を見出す試みが行われています。こうした研究公表の場として、同志社社会学研究へのますますの投稿を期待しています。

(立木茂雄)

◆ 編集委員 ◆

立木 茂雄 (同志社大学社会学部)
轡田 竜蔵 (同志社大学社会学部)
藤井 亮誠 (大学院博士前期課程)
劉 宇婷 (大学院博士前期課程)

同志社社会学研究 第 27 号

2023 年 3 月 31 日発行

発行人 同志社社会学研究学会

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL. 075-251-3441

FAX. 075-251-3066

印刷 協和印刷株式会社